

小学校 第 4・5 学年 総合的な学習の時間学習指導案

平成27年12月11日 金曜日 第4校時

4年生 5年生

指導者

1 単元 10年後も残したい上分の宝を見つけよう

2 単元観・キャリア観 (キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン)

(1) 単元観

本校は、須崎市を流れる新莊川の中流に位置し、校区は、自然が豊かで、米作りやビニールハウスでの園芸作物の栽培が盛んである。少子高齢化で、年々児童数は減少しているが、地域の方による学校応援隊の組織があり、子どもたちの活動に協力してくれている。

本学級の児童は、1・2年生の生活科「私たちのまち」で新莊川・あさぎり市・上分大日様等の校区探検をし、3年生の社会科では、上分公民館などの地域学習で地域の高齢者と交流をしている。1学期の総合的な学習の時間では、新莊川の学習を行い、はえ縄漁・水生生物調査などの体験活動を行った。そして、出てきた疑問から、グループに分かれ川について調べ学習を行ってきた。

本単元は、自分たちの住む上分には、他にどんな良さがあるのか、探究活動を行う中で地域の伝統に目を向けさせ、伝統を守りながらの人々の相互支援のつながりに気づかせ、地域を愛する思いを知る活動を行う。そして、学習したことを宝として発信していくことにより地域の宝とどのようにかかわっていくのか考えさせたい。

(2) 児童観

本学級は、4・5年生の複式学級である。児童は日頃から授業や班活動を共にしており仲が良い。1学期の新莊川の学習では、水生生物や堰についてなど調べたい項目でグループを作り、活動してきたが、おとなしい5年生と活動的な4年生で意思の疎通がうまくいかない場面も見受けられた。また、教師を頼り、自分たちで課題を解決していこうとする意欲的な姿勢に弱さを感じられた。地道な作業が苦手な児童もあり、地域の人と進んで関わりともに活動することを通して、自然や人、ものに関心をもち、自ら課題を見つけて追究する力を育てたい。

(3) 指導観

児童は9月、中学2年生との交流学習の場で上分の宝として新莊川を位置付けた発表を行っており、本単元はこの学習をきっかけに宝を広げていく。第1次では上分の伝統文化である賀茂神社の「浦安の舞」、「大日様」、「江島踊り」について調べていく。地域への聞き取りから始まり、実際に体験し、伝統を守ろうとする人と関わる過程で思いや願いを知る。そして、伝統を守ってきた人々の様々な思いに焦点を当て、これからの上分について考えていく。

「加茂様」は地域にある神社だが、そこで行われるお祭りが平日であるということもあり、児童にはほとんど知られていない。「大日様」は児童にとっては親しみのあるものの、その価値までは知らない。また、江島踊りは地域に伝わる踊りであり、夏祭りや地区民運動会など人の集まる機会には高齢者により踊りが披露されている。以前は運動会などでも踊っていたが、児童にとってはなじみが薄い。伝統を守りたいという地域の人々の思いにふれる中で、地域の行事にも主体的に足を運び参画していくことをはじめ、地域の宝に関心をもち、積極的にかかわっていこうとする児童の姿を期待するとともに 20 年前、10 年前の様子から、10 年後、20 年後の故郷に思いをはせ、10 年後に自分はどんな人になりたいか、そのために今、自分達のできる事は何かを考えさせたい。キャリア教育の人間関係形成・社会形成能力、キャリアプランニング能力「人の役に立つ人間になりたいと思う。生きていく上で、どのような生き方が必要かについて、先人や身近な人から学ぼうとする」を育てるという視点とも関連付けて指導していきたい。

3 単元の指導目標

- 総合的な学習の時間の指導目標
 - ・上分の伝統芸能に関心をもち、体験したり、地域の人に聞いたりして協力して調べたことを発信することができる。
- キャリア教育の視点でのつきたい力
 - ・地域を支える大人から学ぶことで地域を愛する心情を育て、これからの自分の生き方を考え、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自分にできることを実践することができる。(キャリアプランニング能力)

4 単元の評価規準

自ら考え表現する力（太字は5年生）	人と関わる力（太字は5年生）	学んだことを生かす力
・上分の自然、社会、文化に関心をもち追究したい宝を見つけ、課題解決の（見通しを持って）計画を立てている。 ・探検したり、地域の人に聞いたりして情報を収集し（効果的な方法で）整理・分析している。 ・（適切な方法を選んで）分かりやすくまとめ工夫して表現している。	・（異なる意見や他者の考えを受け入れ、）自分の思いを伝えながら協力して活動している。 ・上分の宝について関心を持って、友達や地域の方と関わったり、進んで調べたりして活動しようとしている。	・自ら課題を設定し、課題の解決に向けて進んで行動している。 ・学習で得たことを積極的に自分の生活に生かそうとしている。 ・自分の将来を考え夢や希望をもっている。

5 指導と評価の計画（全 16 時間）

次 (時)	主な学習活動 (時間)	自ら考え表現する力	人と関わる力	学んだことを 生かす力
1次 (7)	・ウェビングにより、上分の宝を見つける。(1)	・上分の宝として追究したいものを見つけ、課題解決の計画を立てている。(ワークシート)	・自分の思いを伝えながら協力して活動している。(行動観察)	・課題解決に向けて自ら進んで行動している。(行動観察)
	・グループに分かれて聞き取りや取材を行う。(4)	・取材したり、人に聞いたりして課題を解決している。(ワークシート)	・上分の宝について関心をもって、友だちや地域の方と関わったり、進んで調べたりして活動しようとしている。(行動観察)	
	・調べたことを整理、分析する。(2)	・上分の宝を分かりやすくまとめようとしている。(ワークシート)		
2次 (4)	・伝えたいことを発信する方法を考える。(1)	・なぜ、10年後も残したいのか聞き手に伝わる方法を考えている。(ワークシート)	・自分の思いを伝えながら協力して活動している。(行動観察)	・課題解決に向けて進んで行動している。(行動観察)
	・グループで練習する。(2)	・宝として残すに値する価値が伝わるように工夫している。(ワークシート)		
	・「残そう上分の宝」発表会を行う。(1) (本時)	・宝の価値や宝を支えてきた人の思いについて考えている。(行動・観察・発言)		

3 次 (3)	・ケーブルTVの番組を制作する。(3)	・キャスターやリポーターになり分かりやすく伝えるように工夫して番組を作っている。	・キャスターやリポーターなどの役割を果たしながら協力して活動している。	
4 次 (2)	・学習を振り返り、自分たちができることを考える。(2)			・上分の宝を知り、上分を大切にしようとしている。 (行動観察) ・宝の価値に気づき、自分も地域を大切にする人になろうとしている。 (行動観察) ・自分の将来を考え夢や希望をもっている。 (観察・発言)

6 本時の指導 第1次5時(11/16)

(1) 目標・評価規準・評価方法

本時の目標	○上分の伝統文化について調べたことを宝として発表し、その価値や支えてきた人の思いについて考える。 ☆地域を愛し、人の役に立つ人間になりたいと思う。
本時の評価規準	○宝の価値や宝を支えてきた人の思いについて、考えている。
評価方法	行動観察・発表・振り返りカード

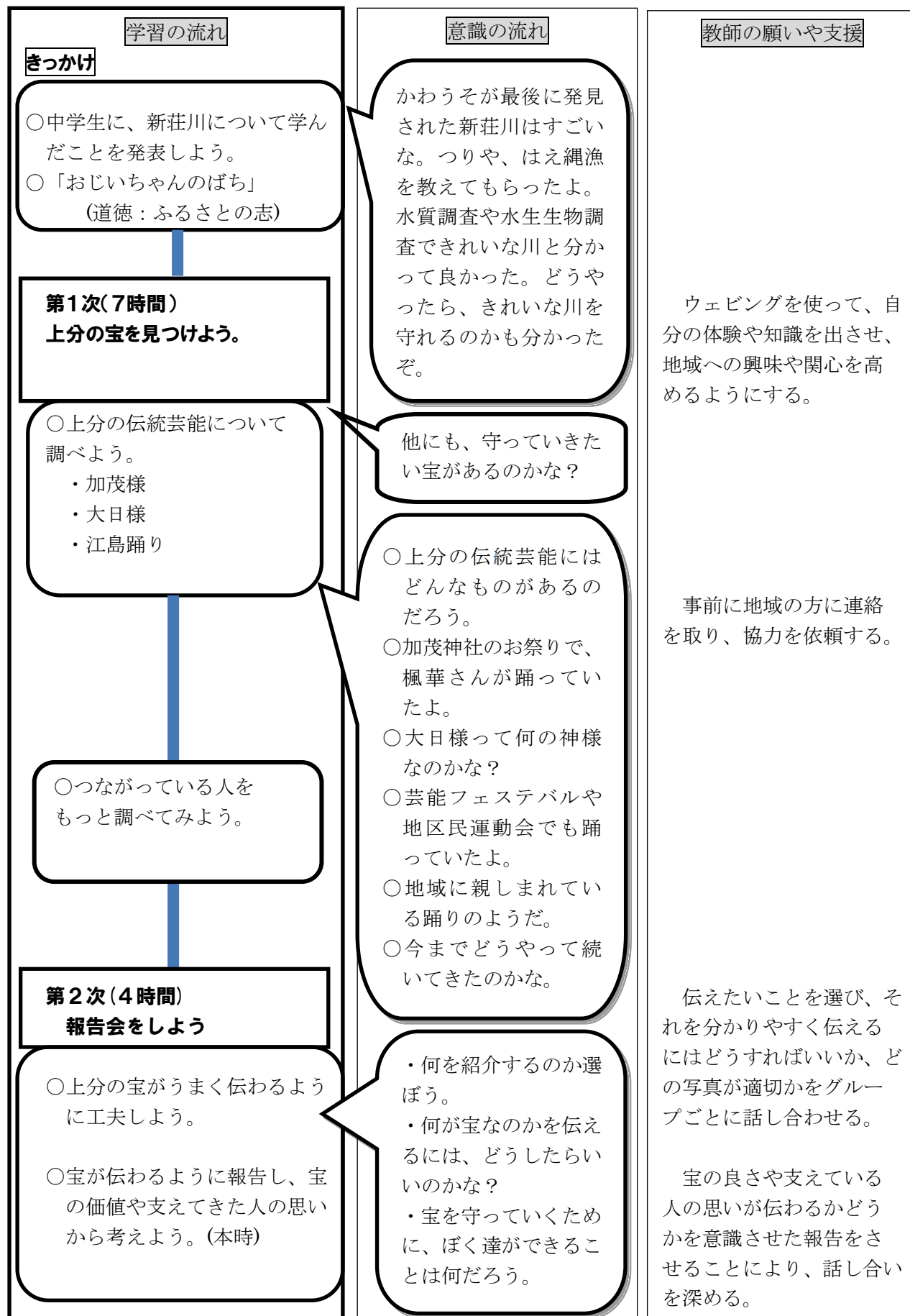
(2) 展開

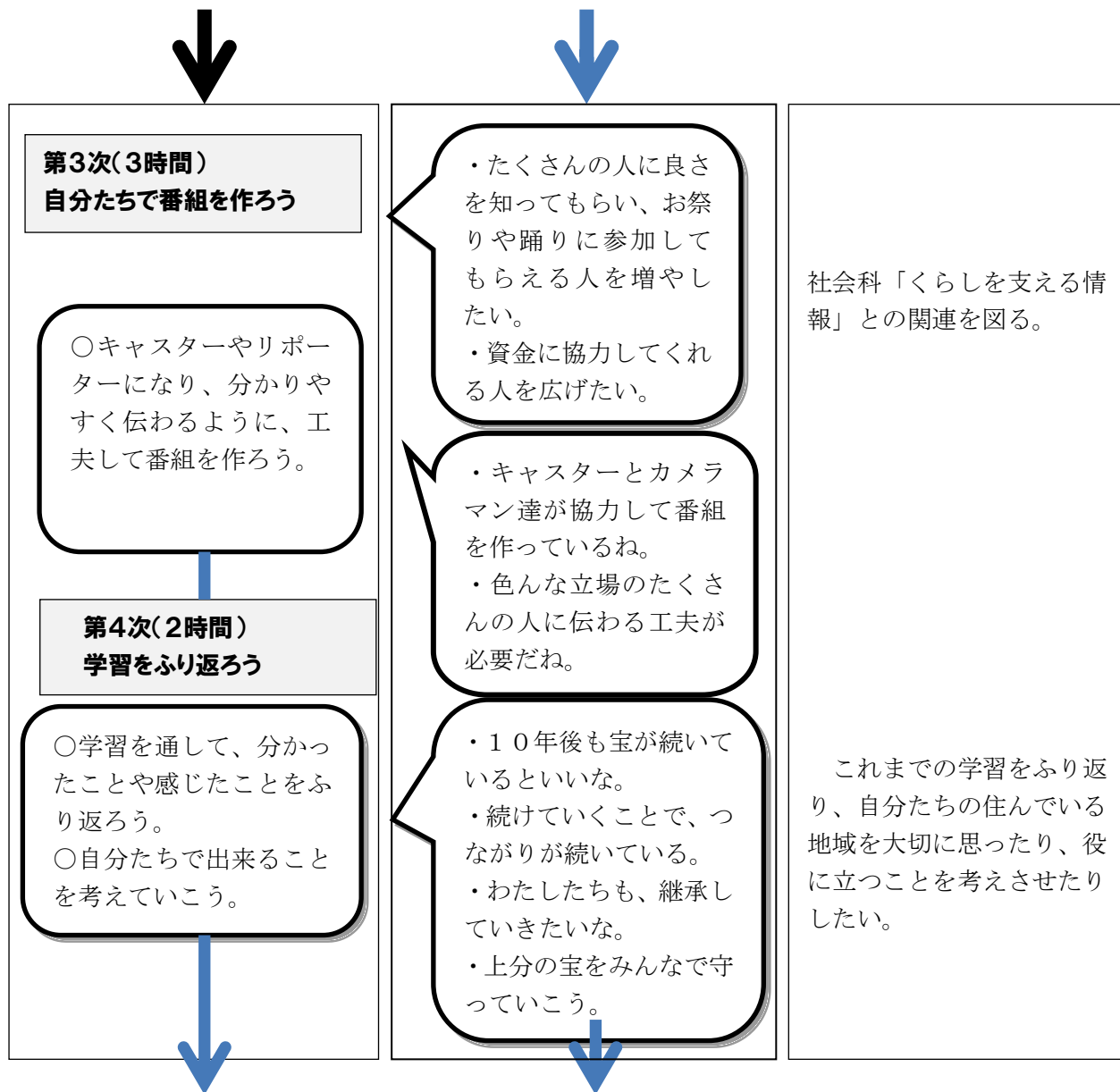
	学 習 活 動	指導上の留意点・支援 ○・・・教科等の留意事項 ☆・・・キャリア教育視点での留意事項 ◇・・・支援	評価規準 (評価方法)
導 入	1 本時の学習内容を知り、めあてをつかむ。	○ゴールイメージを共通理解する。	
	上分の宝の価値や支えてきた人の思いから、10年後を考えよう。 <考える視点> ・宝の良さ ・守り支えている人の思い (苦労や喜び)	○発表する時や聞く時の視点をホワイトボードに明示して確認し、ゴールへとつなげられるようにする。	

展 開	2 グループごとに発表する。 ・大日グループ ・浦安グループ ・江島グループ	・伝統を守ってきた〇〇さんの熱い思いを伝えたい。 ・ここは大事なところだから、気持ちを込めて伝えよう。 ・無くさないために、たくさんの人が頑張っていることを伝えよう。 ・みんなにも知ってもらいたいと言っていた〇〇さんの言葉は、しっかりと伝えなくては。 ・この芸能は守っていくべきだ。だって、・・・。 ・この踊りにはこんな思いがこめられているのか。ぼくの調べたこととも似ているな。 ・上分の文化がいろんなところに繋がっているんだな。	
ま と め	3 上分の伝統文化について話し合う。 ・それぞれの良さは、何だろう。 ・共通しているものは何だろう。 ・上分に住む1人として、10年後についてどんなことを考えますか。	☆宝の価値に気づかせる。 ◇意見が言えるように声掛けをする。 〈ホワイトボードの活用〉 ◇意思表示を確認し、伝え方の具体を支援する。 ・伝統や文化を守るために、いろんな人が協力していることがわかった。 ・協力がこれからも続かないと、無くなってしまうかもしれないよ。 ・無くさないようにしたいな。 ・誰でもが簡単に支えていけることではないよ。どうしたらいいのかな。 ・自分に出来ることは何だろう。	・宝の価値や支えてきた人たちの思いについて考えている。 (行動・観察・発言)
	4 学習について振り返る。	・上分の宝をこれからも守っていききたいな。自分たちにできることは、何だろう。 ○ふり返しカードに記入させる。	

単元構想図

単元名 10年後も残したい上分の宝をみつけよう（全16時間）





単元でつきたい力

- ・友だちや地域の人と進んで関わり、共に活動する力。
- ・上分の自然や人、ものに関心を持ち、自ら課題を見付け追究する力。
- ・情報を整理分析し、調べたことを目的に合わせて効果的に表現できる力。
- ・地域の伝統文化に愛着をもち、大切にしていこうとする態度。

板書計画

